

## 中野市行政改革推進委員会 会議録

<b>日 時</b>	平成30年7月24日（火） 13：55～15：47
<b>会 場</b>	市役所本庁舎 会議室42.43
<b>出席者</b>	<p><b>【委員】</b> 高木秀明、高相淳子、工藤二六子、黒崎春美、後藤治志、大塚一夫、保科千恵子、小林日出夫、町田隆夫、市村義明、田中宏実、萩原広美</p> <p><b>【市】</b> 副市長、総務部長、健康福祉部長、子ども部長、くらしと文化部長、経済部長、都市計画課長(建設水道部長代理)、上下水道課長(建設水道部長代理)、消防部長、豊田支所長、会計管理者、教育次長、議会事務局長</p> <p><b>【事務局】</b> 政策情報課長、行政管理係長、市川副主幹、伊東主事</p>
<b>欠席者</b>	宮川浩委員 建設水道部長
<b>次第</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会（13名中12名出席、過半数の出席者有りのため会議成立）</li> <li>2 副市長あいさつ</li> <li>3 会長の互選について</li> <li>4 会議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第3次中野市行政改革集中改革プランの平成29年度実績報告書について</li> <li>(2) 集中改革プランの追加について</li> <li>(3) 中野市行政改革推進委員会条例の一部改正について</li> <li>(4) その他</li> </ol> </li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>
<b>資料</b>	<p>資料1 中野市行政改革推進委員会条例、委員名簿</p> <p>資料2 第3次中野市行政改革集中改革プランの平成29年度実績報告書</p> <p>資料2-2 行政改革、その他市政運営に対する意見・提言等に対する市の考え方</p> <p>資料3 集中改革プランの追加について</p>

## 1 開会 （総務部長）

## 2 副市長あいさつ

## 3 会長の互選について （仮議長：副会長）

会長に中野市区長会の高木秀明委員が互選される。

## 4 会議事項 （議長：会長）

- (1) 第3次中野市行政改革集中改革プランの平成29年度実績報告書について
- (2) 集中改革プランの追加について
- (3) 中野市行政改革推進委員会条例の一部改正について
- (4) その他

### 【会長】

会議事項(1)「第3次中野市行政改革集中改革プランの平成29年度実績報告書について」を議題とします。事務局から説明願います。

### 【事務局】

（資料2、資料2-2を説明）

資料2 第3次中野市行政改革集中改革プランの平成29年度実績報告書

資料2-2 行政改革、その他市政運営に対する意見・提言等に対する市の考え方

### 【会長】

意見、質問等願います。

### 【委員】

20ページの「18 中央公民館・勤労青少年ホーム・働く婦人の家 3施設の利活用」について願います。市に甘えさせていただき、社協の立場でありながら「ボランティアルーム あんと」という建物を、中央子育て支援センターと併設で用意していただき、活動ができ、本当に感謝しながら利用させていただきました。今回、返すということで場所選びには大変苦労したのですが、市のご厚意で中央公民館の中にありました勤労青少年ホームだった場所をお借りできるようになり、利用させていただき、本当にありがとうございます。

利用している私たちは、具体的なことが分からず、ただ甘えた中での活動でいいのか、ということが時々ボランティアの中から聞こえますので、今日の内容にはそれの部分もあるかもしれませんが、正しいお答えができるのであればお手伝いしたいと思ひまして、改めてお聞きするんですけれども、社協の管轄でお借りしている「あんと」については、お借りするにあたっての条件などはあるのでしょうか。ただ、お借りしているのかどうか心配しています。

もう1点は、24ページの「25 ぽんぼこの湯、もみじ荘、まだらおの湯の利活用」についてですが、職員が一生懸命頑張ってくれているのはわかるのですが、利用者がいないと収入に繋がらないということで、少しでも市民の一人として協力できることがあれば、ということで、いろんな立場で利用することが多いのですが、結構お風呂がぬるかったり、汚い時があるという不評があつて、近隣の方へお客さんが移ってしまうことがあるものですから、そこの指導は市としてやられているかどうか。なかなか皆さんにお聞きする機会がないので、こういった機会にお聞きしたいと思います。

28ページの「30 デイサービスセンターの集約化」についてですが、3施設を社協で任せられているものですが、職員は一生懸命頑張ってくれているのですが、利用者が無ければ収入に繋がらないというもので、先ほどの説明にもありましたように、民間の事業所もたくさん出てきている中で、一生懸命働く職員は、誰にも負けないほど頑張ってくれている姿が見えるのですが、収入に繋がらないということで、これからの課題として検討をされるようですけれども、そこら辺の見通しみたいなものがありましたら、もう少し具体的に教えていただけないかなと思います。

#### 【教育次長】

最初にお問い合わせいただきました中央公民館ですが、そこに「ボランティアルーム あんと」の部屋をお貸ししているという状況です。これは、社会福祉協議会との契約になりまして、相手方が社会福祉法人でありますので、無償で貸与させていただいております。社会福祉協議会の中でボランティアをやっている、ということです。有効に活用していただければと思います。

#### 【経済部長】

ぽんぼこの湯の関係ですが、お風呂がぬるいとか、汚いとかという話がありました。特に平日はお客がないということで、高齢の皆様なら平日の昼間の利用をしていただけるということで、そちらへの働きかけを重点的にしているところでもあります。せっかく行っていただいたのにお風呂がぬるいとか、汚いとかということがあるということ、私は承知しておらなかったのですが、そんなことが無いように指定管理者によく言って、伝えておきたいと思います。

#### 【健康福祉部長】

デイサービスセンターの関係ですが、現在は社会福祉協議会へ指定管理をお願いしております。平成30年度末まで期間がございまして、今後の見通しにつきましては、今年度中に民間事業者等へ施設の譲渡等も含めて検討しておるところでございますので、よろしく申し上げます。

#### 【豊田支所長】

もみじ荘とまだらおの湯は、豊田地域にございます。施設をお客様が利用された場合に、クレームをそれぞれ申し立てておるのですが、それでも改善されない場合は、豊田

支所の方にクレームを申し出られたお客様が、昨年度数名おります。その苦情内容をふまえて、会社の社長に現状を説明し、改善するような努力はしております。

**【委員】**

29ページの「32 豊田保健センターの目的・用途の見直し」について、平成29年度の「反省・課題・改善点等」に「豊田子育て支援センターの移転方針が決まっていなため」と記載されているのですが、移転方針というものはあるのですか。

**【子ども部長】**

子育て支援センターは、市内に3カ所ございます。豊田子育て支援センターについては、同じ施設内の他の機能の動向もありますので、機能の集約化とか、そういうことも合わせて検討をしているという段階でございます。まだ、詳細についてはこれからでございます。

**【委員】**

今まで、いろんな議論の中で、方針を出す、出さないがいきなり決まってしまったというようなことがあるので、ここら辺を注視していきたいと思っているのですが、今、市内に3つあると言われましたが、それぞれの休みの時に他の施設に行くというような、廻って歩いているお母さん方がいられるみたいです。さすがに、豊田の人数は減っては来ているのですが、そんな利用の仕方、いろんなところに顔を出して、いろんな方々と付き合うという、そういった面もございます。

ちょっと概略の話を聞くと、北部子育て支援センターと豊田を一緒にして、どこかへ持っていこうかなというような話に聞こえてしまったので、また豊田から無くなってしまうのかな、とちょっと懸念はしているんですけども、ここら辺の情報をよく発信していただきたいと思います。

**【委員】**

16ページの「14 市民満足度調査の推進」の中で、市民2,000人を対象に実施した、ということですが、回答の総数はどのくらいかということをお聞きしたいのと、インターネット回答は59件と、ここだけ件数が入っているのですが、回収率もお願いします。

**【事務局】**

回収率は34.05%でした。2,000人中の681人ということでございます。

**【委員】**

一般的に、2,000人のうち30%程度の回収率ですが、それで全体を推し量るというのは、回収数とすると少ないかなと感じるのですが、どうでしょうか。

**【事務局】**

回収率30%台というのは、数値的には少ないように感じられますが、統計的な資料とするには十分なサンプル数であると認識しております。

#### 【委員】

3つほどお願いします。

自主財源の確保の中の「3 後期高齢者医療保険料の収納率の向上」現年度分と滞納繰越分の実績と目標値についてですが、他の市税、国民健康保険税、保育料とかいろいろあるのですが、滞納繰越分は特に大体同じような数字になっています。平成29年度の目標値が51.2%のところ、実績値が22.3%になっている。これは目標値が高すぎたのか、何か大きなところで収納してもらえなかったのか。どういう理由なのかをお聞きしたい。

高齢者支援課の関係で、「29 屋内ゲートボール場(東山)の解体」ですが、平成31年度に解体するというので、既に決まっているわけですが、その中で「現施設廃止後、最適な代替施設を望む声が多く、引き続き代替施設の検討を進める。」とありますが、現在の進行状況はどうか。

それから、先ほども質問がございましたが、「30 デイサービスセンターの集約化」について、これも平成32年度で完了となっておりますが、民間施設が多くなってきて、利用者数が減少しているという話もありますが、今年のデイサービスセンター事業の決算、社会福祉協議会の総会の資料によりますと、全体の利用者は1万7千130人ということで、一日平均16.5人、前年度は16.3人ということで、総数にして、前年よりも1%増の101%になっています。前年よりもちょっと増えているという状況の中で、こういう方向付けになっていますが、これから超高齢化社会というようなことで、あと5年後には団塊の世代の方々が75歳になるということです。そうすると利用者が増えるようなことも逆に考えられるのではないかと思います。その辺についてお考えをお聞かせいただきたいと思います。

#### 【健康福祉部長】

まず、「3 後期高齢者医療保険料の収納率の向上」の関係でございまして、平成29年度の滞納繰越分の目標値につきましては、平成26年度が51.1%であることから、努力目標といたしまして51.2%にしたものであります。

実績値Cの欄の滞納繰越分は22.3%でございましたが、滞納者が全体で44名いらっしゃるわけですが、その内の1名の方が制度不満をお持ちの方で、その方の滞納額が全体の60%位を占めているということで、その方の納付を見込んでいたわけですが、結果的に納付いただけなかったということで、22.3%という低い率になってしまったという状況です。

それから、「29 屋内ゲートボール場(東山)の解体」の関係でございまして、先ほどご指摘いただきました「代替施設を望む声が多く、引き続き代替施設の検討を進める。」ということでございますが、具体的にはもみじ荘のゲートボール場、浜津ヶ池の体育館、今後進めて参る予定ですが、5つの小学校がなくなるということから、その後利用とで検討を進めて参る予定でありますので、よろしく申し上げます。

それから、「30 デイサービスセンターの集約化」についてですが、民間事業者の参入に伴いまして、現在までの所で20の事業者、400人を超える定員数の施設が新たに出来てきたということから、市の施設につきましては、年々利用者が減少してきておりまして、それとともに赤字が増えているという状況でございます。

なお、高齢者はこれから増えてくるのではないかと、ということでございますが、高齢者人口のピークの時のデイサービス利用者につきましても推計をいたしまして、今後検討をしてまいりますのでよろしくをお願いします。

#### 【委員】

「後期高齢者医療保険料の収納率」については、制度不満の方の納付予定が納めてもらえなかったということで、了解いたしました。

「ゲートボール場の解体」の件ですが、もみじ荘、浜津ヶ池の体育館、小学校の体育館の後利用というようなことを考えておられるようですが、「最適な代替施設」ということから考えますと、ゲートボールだけで独占するような使用の仕方は考えておりませんが、大会等を冬期に開くにつきましても、コートが1つでは分散して大会を開催しなければならなくなってしまうので、最低2コートは確保できるような形に持って行ってほしい。隣接してそういう施設があれば、それはそれでいいと思いますが、出来れば1カ所でそういう大会が開催可能な施設を心配していただきたい、というお願いでございます。

「デイサービスセンターの集約化」でございますが、確かにデイサービスセンター3施設が赤字で、区分間の繰り入れで何とかつじつまを合わせているような状況でございます。そんな中ではございますが、確かにこれから利用者は増える状況にありますし、逆に介護職員の不足というのが大きな問題になりそうだと、この間新聞にも出ておりましたが、そういう中で、ぜひ重度の皆さんを何とか受入れのできるような、そういう形をとっていただければありがたいと思います。要望です。

#### 【委員】

40ページ「46 小学校の跡地利用」ということで、平成29年度において、統合準備委員会の中で跡地利用についていろいろ検討していくと言われましたけれども、一切話がない、ここの文章でも「できなかった」ということですが、それが今度は市長部局において庁内で検討する方向に変更になってきました。

12月市議会の一般質問で、質問された議員さんへのお答えの中で「統合準備委員会の中である程度のお話をしていく」という答弁をされていたと思うのですが、それが今度は、こんな状況の中で市長部局で検討していくということになってはいますが、いずれにしても地域の住民の要望もあったり、アイデアもあったりすると思うのですが、こころを反映できるようになるのでしょうか。

#### 【総務部長】

小学校の跡地利用については、全体に係りますので私の方でお答えさせていただきます

す。

まず、公共施設の最適化ということで市民の皆様にお示ししたのは、人口の減少をしていく中、これから施設の維持をしていく中で、建て替えの時期を迎える、あるいは維持管理経費が掛かっているということで、全体で市の施設の20%を削減していかないと中野市としては財政的に施設の維持ができませんということで市民の皆様にもお示しをしたところであります。

この中から、今いろんな意見をいただいているような施設も、借りているような土地で、ちょうど期間が満了するようなものとか、建替えの時期を迎えているものについては、複合化して、他の施設でいろんな用途で活用できないか検討したり、あるいは民間の力を借りれば、それぞれの事業が転換できるのであれば、民間の方に事業をお願いしていくというようなことで、市の施設ではなくしていくというようなことを含めて、公共施設の最適化ということで方針を出しています。その中に、小学校の跡地利用というものも1つのパーツとしてありまして、5つの小学校が小学校としての用途としてはなくなるということで、ではどんな利用をしていくかということで、なかなか具体的には統合準備委員会でも開校に向けてのご意見に時間をとっていただいているようなので、なかなか具体的な意見が出てきていないというようにお聞きしていますが、その中でも、地域ではどんなことが必要だというような意見が出ていたりしているようなものがあると聞いていますので、そんなことも庁内の各部署が、それぞれ自分の所管している施設のことも含めて、意見を言ってもらう機会を作って、庁内で言うとうどんな施設が学校の跡地を利用するのが適当か、あるいはその場所でなくてもいいのではないかと、というようなことも含めて庁内で検討をしていって、この20%という施設縮減の中で、今、この場では存続すると決めた施設の中にも、そのままで良いのかどうかという検討もしていかなければならないということで、庁内でもいろいろ議論を進めてまいるという段階でございます。先ほどの子育て支援センターの話もありましたが、その場所でのいいのか、あるいは違う場所に行って、例えば複合的な機能にすればもっと合理的に有効に使えるのではないかと、という点も含めて検討していくということも続けていくということで考えております。それぞれの個別の計画ができたところで市民の皆様にもお伝えしてまいりたいと思っております。具体的に今お応えできるものは、あるものと、無いものとありますけれども、そういうことでご理解いただきたいと思います。

#### 【委員】

言えることがあったら、教えていただきたいと思います。

#### 【総務部長】

この進捗管理シートの中で、番号の抜けているようなものについては、すでに廃止なり譲渡ということが完結しておりまして抜いていますので、そのようなものが「あるもの」です。

先ほど出ました「屋内ゲートボール場」についても、廃止をするということで決定しております。

**【委員】**

先ほど質問した中で、地域住民の希望とかアイデアとかが入る余地があるのかどうか。

1つ例をあげさせてもらおうと、今年の高校野球で大変頑張っていた、築北村が空いた学校を何とか活性化にしようという考え方の中で、日本ウェルネス高校を誘致して、高校野球で有名な中原監督を連れてこられて、ああいう形にされたら、そんな夢のあるようなことも、もしかして発想として考えられる可能性もあるし、なかなか庁内でそんな奇抜なアイデアが出て、なかなか通るのかどうかということですが。そういったいろんなアイデアがあるかもしれないし、可能性が無いこともないので、そういった意見が議論の中でまるっきりないのではおもしろくないのかな、と考えますが、そこら辺は反映できるようになるのでしょうか。

**【総務部長】**

まだ手法については、具体的に検討はしていませんが、委員のご心配いただいているのは小学校の跡地利用だと思いますけれども、庁内でどんな部署もそれぞれ抱えている施設の建替えだとか、複合的な利用をすれば学校の跡地を利用したいという意見があれば、それをまず議論していくことになります。そこで、庁内で使用する候補地にならないとなれば、民間の方でそこを利用する方がいるかの募集をすることとか、あるいは地域の方にその活用について、市の施設で無くしてもいいので皆さんのところで考えられることはありますか、というような機会を、どんな手法をとるかはまだ具体的に検討していませんが、いろんなところでやっているものとして、手上げ方式でやっているところもありますので、先進地もありますので、そういうスムーズなやり方があるとなれば、反映できるものは考えていきたいと思っておりますので、今後の課題であると思っております。

**【委員】**

手法はあるのですが、もし市民に投げかける場合は、ちょっと期間を設けていただいて、1ヵ月や2か月で、パッと行って、いろんな話ができる前に終わってしまったということがないようお願いしたいと思います。

**【総務部長】**

時間的な話も、貴重なご意見をいただきましたので、反映できるように工夫してまいります。

**【委員】**

「11 有料広告の推進」ですが、プロ野球や他の都市で、例えば野球場、あるいはこれからまた中野市でも建設が検討されてく市民会館のような施設、そういうものの広告料を取るということを取り入れるというのはお考えになっているかどうか。

**【総務部長】**

有料広告の関係ですが、現在はホームページ、又は広報なかので枠を設けることでお願いをしていますし、その他には、市営球場の外野のフェンスの所に有料広告を入れています。あんなふうに、有料広告を取れるものがあれば募集をしていきたいですし、ネーミングライツと言って、施設の冠に名前を付けるということにお金を出してくれるという企業があれば、そういうことも検討していくということで、それは全然排除するものではないです。現時点で名前を付けるようなものとする、思いつかないんですけども、そんなものがあればご助言いただければ、そんなものも踏まえて検討してまいりたいと思っております。

**【委員】**

先に質問した中の「財政主要3指標の向上」ですが、庁舎を建てたことによる3指標への影響はないですか。

**【総務部長】**

庁舎の建設にあたりましては、当初予定をしておりましたのは、庁舎に係る経費については自前の金と借金とでやるということで、この借金というのが起債というもので市債というものですが、この借りるお金が当初計画した時は、ただ借りるだけのお金で、利息を付けて返さなければいけないという借金でした。ところが、熊本地震以降、公共施設の防災の拠点になるということで、庁舎の整備についても交付税で措置をしてくれるというような、あるいは同じ借金でも90%まで借金してもいいですよ、という有利な、我々財政的に言いますと、交付税という形ですが、支援していただけるというような起債がありましたので、それらの起債を使うことによって、だいぶ借金の中身が変わりましたので、財政的には当初見込んだよりは悪くならないと推計をしております。

**【委員】**

ただ今の答弁の関係で、合併特例債というのが、中野市はもうほとんど無い状態だというふうにお聞きしているんですけども、合併特例債の時の条件と、今説明のあった後で交付税でというものとは、中野市にとってはどのくらい都合がいいのでしょうか。

**【総務部長】**

手元に資料を持って来ていないのですが、今までだと事業費の75%まで借金が出るというのが90%まで借り入れられるということですし、今まではただの借金で、返しなさいということでしたが、元利償還金の30%を後年度ですけれども、交付税に上乗せして支援してくれるということでありますので、合併特例債の方が有利で、使えるメニューが沢山あったので、合併特例債の方が合併することによって色々な施設を充実するために使わせていただいておりますので、今の施設については防災のため、あるいは庁舎のような防災機能のため、というようなものでございますので、その庁舎の中に整備をした防災無線の設備なんかも借金をすることができましたので、今言ったような財源

手当てができたというふうに思っております。

**【会長】**

他に意見等ありませんので、次に移ります。

会議事項 (2) 「集中改革プランの追加について」を議題とします。事務局から説明願います。

**【事務局】**

(資料3を説明)

資料3 集中改革プランの追加について

公共施設の最適化については、公共施設等総合管理計画、公共施設最適化計画を策定し、現在個別施設計画の策定に向け作業中。

別建てで計画を作り、進捗管理をしていくようになったため、この委員会において個別の施設について、本日のような議論はせず、改めて個別の計画の中でPDCAサイクルをまわしていく。

この会議には、プランに載っているため報告をするという形になる。

4番目の組織の最適化について、今回追加を提案させていただきます。国において働き方改革が進められており、市役所も対象である。市として、一層行政改革に取り組んでいきたいという位置づけとする。

内容については、事務局で調整し、改めて詳細を提示したい。

**【会長】**

意見、質問等願います。

意見等ありませんので、次に移ります。

会議事項 (3) 「中野市行政改革推進委員会条例の一部改正について」を議題とします。事務局から説明願います。

**【事務局】**

(資料1参照、説明)

資料1 中野市行政改革推進委員会条例

任期について、1年から「2年」に変更

組織について、「公募に応じた市民」を追加

条例改正は9月議会に上程する予定

**【会長】**

意見、質問等願います。

意見等ありませんので、次に移ります。

会議事項 (4) 「その他」を議題とします。何かございますか。

**【委員】**

事前に何点か質問させていただいたことについてお願いします。

2番目にあります「ふれあいバスについて」ですが、実際の利用はどのくらいあるのか。この有効性について、資料等はございますか。

**【事務局】**

担当の政策情報課からお答えいたします。

手元に資料がございませんので何人という数字についてはお出しできませんが、資料に載っています運行費、ここには3路線ありますが、2台のバスで運行しております。

科野、倭地区についてはマイクロバスで、豊田地域についてはハイエースで運行しております。人数については、補助金をいただくために国に計画を出していますが、豊田地域については、現在利用いただいている人数が非常に少ない現状です。この10月から路線の見直し、バス停の増設等を予定しております。豊田地域の区長会の皆さんへの説明も始めさせていただいておりますので、詳細が決まりましたら、広報等で周知をさせていただきます。

間山線と科野・倭線についても、利用者の数については多いとは言えない状況ですが、間山線に関しては比較的定期的に利用してくださるお客さんが多く、全体としては多く利用いただいている状況です。

数字については、後程数字のわかる資料をお渡しいたします。

**【委員】**

バス事業所への補てんを見ると、かなりの金額を補てんされています。発想を変えて、バス路線の運営している業者にも利益が無いといけないのですが、主要な朝晩の交通をその業者にお願ひし、同じ路線プラスアルファですが、昼間の時間帯をふれあいバスを有効に稼働させていただき、運輸省だとか、国土交通省だとかの許可が必要だとか思うのですが、そんな発想にすれば、永田線は約600万円、ここの発想を変えることにより、利便性が高まったり、もしかしたら両者がいいという状態になるのではないかと安易に考えていますけれども、そんな検討は出来ないでしょうか。

ふれあいバスというのは、非常に素晴らしい発想で始められていて有効だと思うのですが、なかなか利用者がいない。これはやはり、止まる場所、ということがあります。

ある永田地区のお父さんですが、子どもが4、5人いるのですが、永田地区から中野の高校に出すに、4人もいれば家が1軒建ってしまう、というくらいの交通費がかかるそうです。住みよい地域にするために、こういうことを何とか考えられないものかという思いで、この質問をさせていただきました。この件について、所見がありましたらお

願いたいと思います。

#### 【事務局】

ただ今の提案ですが、長電バスを運行している路線とふれあいバスが運行している路線は、基本的には重ならないようにルート設定されています。

豊田地域に関して言うと、上今井から替佐の区間は一部重なっておりますが、長電バスの運行している区間を「朝だけ長電」で「昼間をふれあい」というのは、路線バスというのは装置産業ですので、一番マックスのお客さんの時間帯に合わせてバスを設定するわけです。昼間は空いているからと言っても、昼間も車はあるわけですので、維持費に関しては掛かる、併せて人件費が一番掛かるので、朝だけの人件費を考えるとちょっと集中配置をするというのはなかなか難しいというのが現状であろうと思います。

ですが、今の提案のように役割分担をして、なるべく有効利用していくという発想は十分必要なことだと思いますので、そういうことにも配慮してふれあいバスのダイヤ、長電バスにもダイヤの見直しであったり、バス停の設置場所につきましては、市としてもお願いしまして、すでにいろいろやっていただいている部分もありますので、ご意見も参考にしながらやっていきたいと考えています。

#### 【委員】

区では、何とか特区とかそういったもの、交通特区みたいなものが極端な話、できるのであれば、地域としては非常に助かるかなと思いますので、そうであろうということではなく、実際に話してみて、検討してみたいと思います。

続けてお願いします。

もう1点、防火水槽についてですが、いろいろ質問させていただきました。

じつは、この間私の地域の泥上げをしました。フェンスがガタガタしていて、子どもが落ちないようにと番線で止めたりしていて、これはもう10年来の懸案で、どうするどうすると言いながら今まで来てしまっています。これを何とかうまくできないかということで、その住民が金を出せばいいという話になってしまうかもしれないのですが、貯水池につきましては、今まで火災等の想定されるときに消火活動という時の水利として十分に役割を果たしてきたわけですが、住民の安心という面では非常に大切なものだと思っております。この間計りましたら32トンの水が入っているものだと思いますが、40トンくらい入っているはずの規格なんですけど、かさ上げしてもらい、容量を増やしてもらい防火水槽として使えないものかという話が地域の人たちの間に出ていまして、そんなことは難しいでしょうか。

#### 【消防部長】

40トンが法廷で定められた防火貯水槽になります。市では、40トン以上の防火貯水槽の維持管理に努めております。40トン以下については、各区に維持管理をお願いしているわけですが、先ほどお話にあったフェンスについては、現物支給で安全面の配慮をしているというのが現状であります。しかしながら、区の皆さんにフェンスの張り

替えをしていただくのもなかなか難しいところもございますので、実際には消防団と消防職員の方で対応しております。

32トンから40トンにというお話がございましたが、現在、40トン以上で蓋かけ等の安全辺がまだ行き届いていない防火貯水槽の方を順次計画的にやっておりますので、ご了解をいただければと思います。

**【委員】**

以前、火災があった時に防火貯水槽のすぐ横に消火栓がありまして、貯水槽に消火栓の水を入れ込んだら7台のポンプで消火活動ができた、実際にそういう場面に立ち会いました。防火貯水槽の有効性というのは多分にあるかと思えます。そんな中で、ゆくゆくですけれどもお願いしたいということです。

フェンスについては、子どもたちが落ちないように安全のために、それぞれのところからお願いに伺うかと思えますけれども、よろしくお願いします。

**【委員】**

日常的に使う施設として上水道、下水道等が考えられるのですが、その中で中野市の上水道の送水管、水道管の関係、それから下水道の管も敷設してから相当な年月が経過していると私は思うのですが、これから全国的にも中野市も人口が減少していく傾向の中で、生活に必要なインフラ、特に上水道、下水道関係の改修するようなものは、今後どのくらいあるのか。分かったら教えていただきたいと思えます。

**【上下水道課長】**

それにつきましては全国的な問題にもなっておりまして、市町村ごとに取り組んでおります。

中野市では、ストックマネジメントを始めまして、これからまとまってくる予定ですので、資産を全部調べまして、何年度にいくらかかるといようなものを段階的にやると年度によってお金の差が出ますので、平準化するといような計画をこれから定めるところでございます。

**【委員】**

上水道は、敷設をしておけば高さなどは問題なく水圧で給水できるので、そんなに大きくならないと思うのですが、下水道は一定の落差が無いといけない。階段のような形で持っていかなければいけない。加入率も中野市の場合は、当初の予定よりも低いという話を聞いているんですけれども、その中でやはり、市の一般会計からも相当な金額が補てんされているという状況で、改修するにはどのくらいかかるのかということは、市民として大変関心がある問題なので、出来るだけそういった情報を市民全体に公開して、みんなが関心を持つような形に持って行ってほしいと思えます。

**【委員】**

いろいろな情報を広報なかの知るところですが、職員の方も少ない人数で一生懸命に働いてくださっていることに対して、本当に頭が下がる思いでいる市民の一人です。そういった中で、高齢になって足手まといになってしまっはいけないのですが、少しでもお手伝いをして、いい中野市になってほしいと思っています。そこで、お聞きしたいこと、相談に乗ってほしいことをお願いしたいと思います。

ファミリーサポート、放課後児童クラブについて、資格が無くてもお手伝いができるような形でというようなことが広報に書いてあったと思いますが、ファミリーサポートについては、2人しかいないということをお聞きして、どんな内容の要請が今あって、どんなご苦労があるかということが情報として入ってこないの、私でお手伝いできることがあるかどうか、内容をお聞きしたいと思っています。私より若いお母さんで、やれるならやってみたいという話をした方もいました。放課後児童クラブについても、保母さんをやっていたような方がやっしてくださっているように思いますが、こういった会場を使用して事業をやらせていただいた経緯もあります。こういった形の中で、無料でもお手伝いできることがあれば教えてほしいと思います。

次に、カチューシャマラソン大会についてです。部長をはじめ職員の方々も多く、大会に参加されていると思いますが、私も全国各地のマラソン大会に出場もしていますが、1日に3カ所、4カ所と大会が行われるほど大会の数が増えてきていると思いますが、カチューシャマラソン大会はマンネリ化しているような気がします。例えば、この間の小布施については、いつもよりも開始時間を早めて始めたり、今年は暑いので走らなくてもいいですよ、歩いてください、と声をかけてくださいました。そうやって全国の大会に参加をしていますと、中野のカチューシャマラソン大会については、地元の大会ですが、地元の方の参加が減っているのではないかと思います。応援者も少なかったりしているので、おもてなしの方法ももう少し変えたら、もう少し参加者が増えるのではないかと思います。そこを検討しているかどうか。

それから、行政バスのことですが、数年前から行政バスは貸出しないと聞いていたと思うのですが、今年もいろんな団体で参加するにあたって、行政バスをけっこう貸してくださるようで、何か利得があるのかどうか、基本的な決まりがあるのかどうか。団体の勉強会等で貸出できるのであれば、各団体にも平等に貸していただけたらと思いますので、基本的な決まりがありましたら教えてください。

それから、広報の中に選挙の立会人についての募集があったのですが、高校生のお手伝いもしていただいているようですが、人数が足りないようなことがあれば、高齢者でもお手伝いできることがあれば、していきたいと考えていますので、教えていただければと思います。

ほとんど広報に載っていたことになりませんが、決まりの無い中で自分勝手なことを言っているようですが、職員にだけやらせるのではなく、市民の出来る事があれば大いに参加していただいて、中野市のための活動に繋がればと考えております。お手伝いできることがあるかどうか、教えていただければと思います。

【子ども部長】

ファミリーサポート事業と放課後児童クラブについてですが、大変ありがとうございます。広報6月号で募集をさせていただいたところでございます。

小さいお子さんを見ていらっしゃる方で、用事が入った時に一時的に見ていただきたいとか、あるいは保育園に預けているのですが、都合で遅くなるので迎えに行けないので行ってほしいとか、そういう時に主に利用いただいていると聞いています。

放課後児童クラブは、ボランティアということですが、今までは改めて公募をしていなかったのですが、クラブは各地区にございますので、お願いできることがあれば中でも話をしていって、ご連絡させていただければと思っております。大変ありがとうございます。

#### 【くらしと文化部長】

カチューシャマラソン大会についてですが、委員さんがおっしゃるとおり、私もそうですが、職員も多く各地の大会に参加をさせていただいております。マラソンが今、ブームということで、いろんな大会がございます。今年の5月20日のカチューシャマラソン大会の時も、県外で数千人規模の大きな大会が2つ重なっておりまして、その分もありまして少し参加者が減ったということもございます。大会が沢山ございますので、参加者も大会を選んで参加できるということになりますので、大会の特徴や参加される方の満足度、応援とかおもてなし、そんなようなことを主催者であります体育協会ともいろいろ話をして、参加者増の方に持っていきたいと考えておりますのでよろしく願います。

#### 【総務部長】

行政バスにつきましては、陸運局からも指導をいただいているのですが、基本的には市が使うものについて行政バスというものがあるので、各団体にお貸しするものは、「緑の営業バスを使っていただくように」ということで、白バス営業が無いようにというご指導をいただいています。市で所有してございました大きな行政バスについては、耐用年数が過ぎておりましたので廃車をしましたし、それから運転手の確保という面では外注をしてまいりますので、外の業者の皆様をお願いをしながら、外の皆さんに使っていただくようにというところで考えておりますので、そんなことを念頭にご理解をいただきたいと思います。

次に、選挙の立会人についてですが、多くの皆さんに立会人でお手伝いをいただければありがたいのですが、今回高校生の皆さんにお声かけをしたのは、18歳以上が有権者になったということで、そこら辺の意識も持っていただくということもぜひお願いをしたいということで、市内2校をお願いをしたという経過がございます。人数的にはそんなところからのお手伝いをいただきながら、今、県知事選挙の期日前投票をこの庁舎の2階で行っておりますが、そんなところもお手伝いをいただきながら運営をしているというところでございますので、ご理解をいただければと思っておりますのでよろしく願います。

### 【委員】

豊田地区は、豊田小学校ということで統合されます。そんな中で、お母さん方が心配をしている放課後児童クラブですが、これはどうなるのかなということです。統合準備委員会で示された図面の中には、そんな部屋は1つありません。話せる範囲で構いませんので、お願いしたいと思います。

### 【子ども部長】

豊田地区は、小学校のある2カ所で運営させていただいておりますが、新しく豊田小学校となる場所には放課後児童クラブの部屋を確保できないと聞いておりましたので、統合した小学校の近くに公共施設があるというところで、その近い場所で何とか運営できないかなと考えております。

### 【委員】

いろんな議論の中で、これからも中野市をどんなふうにして行くとか、いろんな議論があり、いろんな判断をする場面があると思うのですが、ここら辺を十分に市民の意見を反映できるように、合意ができるようにということで、いろんな決め方をさせていただきたいと思います。これが1つです。

それと、市にはいろんな諮問機関がありますが、当会も市長の諮問機関ということでございます。副市長さんもお見えになっていますが、たまには市長さんに生の声を聞いていただいて、政策をいろいろ練っていただきたいと感じています。

### 【総務部長】

行政改革推進委員会の顛末については、当然市長まで上げ、様子を伝えています。市長からもその都度指示をいただくものもございますので、政策を推進していくうえでは反映されているということで、ここだけで終わっているわけではないということをお伝えしておきたいと思っておりますし、ここでの長は副市長ということでお決めいただいておりますので、副市長が出席させていただいておりますので、また、市長が出てきて話をする場面があれば、そんな機会も検討してまいりたいと思っております。

### 【副会長】

1つ、お聞きします。

平野保育園は、すごく人数が増えていて、とても古いのですが、大きくするとか、改築の予定はありますか。

### 【子ども部長】

保育園については、保育所整備計画を策定しまして、順次進めているところでございます。すでに3施設は改築いたしました。現在長丘、平岡保育園について対応しているところです。今後、保育所整備計画と個別施設計画を策定するタイミングで、順次古いものから計画を策定していくという予定でおりますが、この次に平野保育園、高丘保

育園がございますので、その辺も今後の中で検討させていただいて、古いものから順に更新させていただきたいと考えております。

**【副会長】**

今の時点で、いつごろという話は出来ませんか。

**【子ども部長】**

年数で言いますと、他にまだ古いところがありますので、そちらを検討しながら順次ということで、具体的な年数については、まだこれからでございます。

**【会長】**

他に意見等ありませんので、会議事項はこれで終了といたします。

次に、「5 その他」について、事務局からお願いいたします。

**5 その他**

今後のスケジュールについてお願いします。

第3次中野市行政改革集中改革プラン進捗管理シートについては、本日いただいた意見を踏まえ、事務局にて調整を図ったうえで、市公式ホームページにて公表してまいります。

次回の推進委員会につきましては、先ほど説明をさせていただいたプランの追加について、そこまで案が出来上がってればお示しをしていきたいと考えております。併せて、平成30年度集中改革プランの中間点検をお願いする予定です。以上です。

**6 閉会 （会長）**

終了 15時47分